

# あそびまつりだよりNo.11

頌栄幼稚園

2019. 10. 16

## 年中 大玉

9月からずっと遊んできた「おおだまどろ」！「どろぼう」v.s.「けいさつ」でたくさん遊んだので、他の何かでおおだまの追いかけっこができないかと相談することになり…、

「むし」v.s.「にんげん」で遊ぶことになりました。お弁当後に張り切って虫取りを楽しむ子どもたちの様子がよく見られていた年中のこどもたちならではの。そして、つかまったどろぼうが入る牢屋は、名前を改め「むしかご」になりました！

子どもたちが段ボールに絵の具を塗って作った紅白の虫かごには…、

「ここから外が見えるように、窓をつくろう！」と、一生懸命段ボールに穴をあける子どもたち。

また、「虫さんが入りたくるように、お花をつけよう！」

「おかしもいいね」「はっばも！」

と、子どもたちのアイデアで飾りがついています。喜び、夢いっぱい虫かごです。



## <リハーサル>

審判の合図で「よーいどん！」と走り出し、赤い玉が人間チーム、白い玉が虫チームで大玉遊びが始まりました。「きゃー！にげるぞ！！！！」「まてー！！」と子どもたちははにこにこしながら、四方八方で大きな玉や、バランスボールやいろんな玉が転がっていきます。こどもたちは楽しそうでしたが…、年長さんから、「なにやってるのかわかんない！！」と言われてしまいました。(笑) また、大玉とバランスボールがぶつかり、大きい玉からはぶつけられたことに気づけないこともあり、「あれ？」となっていました。

## <後日の話し合い>

教師「大きい組さんが、年中さん何をしてるかわからなかったんだって。

それに、みんなは大きい玉と小さい玉がぶつかったらわかるの？」

子どもたち「わからない！」「みえないもん」

教師「じゃあどうしよう？」

子どもたち「大きい玉は大きい玉と追いかけっこして、

小さい玉は小さい玉で追いかけっこしたらいいんじゃない？」

…なるほど！！それなら、できそうだ！となり、この話合いから、大玉同士、バランスボール同士の二回戦で遊ぶことになりました。ひとつひとつ、ゆっくり子どもたちと相談して遊びを作っています！



## チャレンジ

今までやっとこに乘れなかったNが乗れるようになり、「すごいね！」と声をかけると、「Hちゃんに教えてもらったんだよ」と嬉しそうな声。その時Hは、Tにやっとこの先生をしている最中でした。その日のお集まりで、Tが「やっとこ難しいけど、たのしかった」とみんなに伝えていました。「難しいってたのしいの？」とみんなにきくと「そうだよ！だって出来たらうれしいもん！」と言います。

教えあう姿、やってみようと頑張れる姿、またそれが楽しいと思える心…

子どもたちの素直な思いに、心動かされる担任です。

